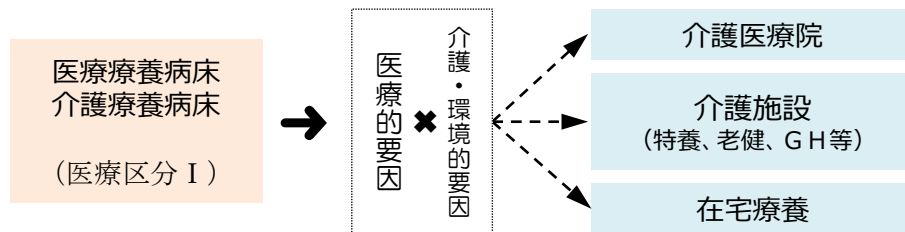


療養病床入院高齢者の状況調査・分析について

調査目的

病床の機能分化及び連携の進展に伴い、療養病床入院患者のうち医療の必要性が低い患者等については、将来的に在宅医療等に対応する方針が国から示されていることから、そのため新たに発生する介護サービス需要（追加的需要）に対し受け皿となる介護施設や在宅サービス等の介護サービスのあり方について分析を行う。



調査概要案

I 療養病床入院高齢者調査

- (1) 調査内容
医療区分Ⅰに該当する入院患者の高齢者像を、受け皿となる介護サービスの視点や退院できない理由等を踏まえて調査
- (2) 調査項目概要
医療区分Ⅰの入院患者の状態
 - ・医療ケアの状態（必要となる医療ケア）
 - ・要介護度・日常生活自立度・認知症の状況等
 - ・介護者の有無・経済状況
 - ・退院できない理由 等
- (3) 調査方法 アンケート調査
- (4) 規模
医療療養病床 170件程度
介護療養病床 60件程度

II 訪問診療所、介護事業者等における受入れ対応状況の把握

- (1) 調査内容
訪問診療所、介護事業所等における医療的ケアが必要な高齢者に対する対応の可否状況を調査
- (2) 調査項目概要
 - ・受入可能な医療的ケア
 - ・医療職の体制・受入可能人数
 - ・在宅療養ができない理由 等
- (3) 調査方法 アンケート調査・ヒアリング調査
- (4) 規模
訪問診療を行っている診療所 260件程度
介護施設等（施設・居住系サービス事業者調査で実施）
※ヒアリング調査対象：
在宅介護サービス事業者、訪問看護事業者、病院等の退院支援MSW 等

スケジュール(予定)

| | ～6月上旬 | 6月～7月 | 8月～9月 | 10月～11月 | 12月 |
|---------|--------|----------------|-----------------------|----------|----------|
| アンケート調査 | ○調査票作成 | ○調査開始(期間1ヶ月程度) | | | |
| ヒアリング調査 | | | ○対応事業所選定・実施 | | |
| 分析・結果報告 | | | ○分析開始 ○速報を作成 ○速報完成 | ○最終報告書作成 | ○最終報告書完成 |